

吉岡町地内に整備する一般廃棄物
最終処分場の概略構想

澁川地区広域市町村圏振興整備組合

《吉岡町に整備する最終処分場の概略構想について》

吉岡町に整備を予定している一般廃棄物最終処分場は、環境配慮や地元
の意見を取り入れ屋根や壁を設置する被覆型（クローズド型）最終処分場
を基本に考えます。

また、浸出水は処理をして、埋め立て施設内の散水に循環利用する無放
流式とし、河川への放流を行わない方法を基本とします。

これらにより、住民生活や周辺環境に配慮し、将来にわたり地域の安全
と安心を確保できる施設とします。

以下に現時点での計画、構想、スケジュール等を示します。

1 基本的事項

(1) 建設場所 吉岡町地内（場所未定）

(2) 事業スケジュール（予定）

ア 令和4年度 用地選定、地元説明・協議、基本構想策定（規模、
方式等）

イ 令和5年度 地元説明・協議

ウ 令和6年度 不動産鑑定、測量、環境調査等

エ 令和7年度 用地買収、基本設計

オ 令和8年度 実施設計

カ 令和9年度～令和11年度 建設工事、周辺整備工事

(3) 施設規模 敷地面積 約25,000㎡
埋立容量 約60,000㎡

(4) 事業費 約44億円（概算）

(5) 埋立物 渋川地区広域圏清掃センターから出る焼却灰、飛灰、不
燃物残渣及び覆土

(6) 埋立期間 原則として、環境省が定める「廃棄物最終処分場の性能
に関する指針」に基づき15年とします。
ただし、15年で埋立容量に達しない場合は延長をお願い
する場合があります。

2 施設概要

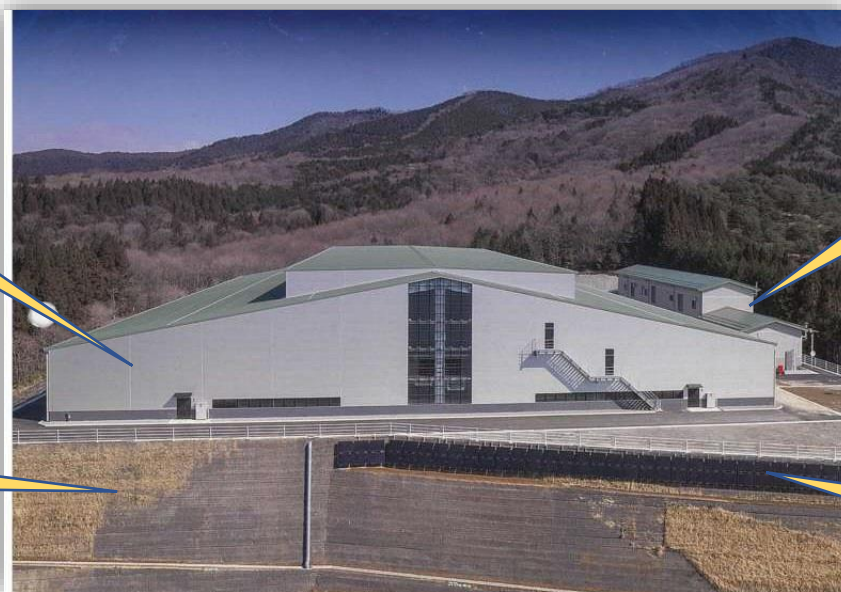
(1) 被覆施設

構造規模 鉄骨造平屋建て

延べ面積 約7,000㎡（70m×100m）

仕上げ 屋根：鋼板葺き、外壁：金属パネル

高さ 地上約15m、地下約15m



被覆施設

浸出水処理施

補強土壁

太陽光パネル

【イメージ写真1 エコ小野上処分場外観】

(2) 貯留施設（埋め立て場所）

ア 貯留構造物の方式・・・補強土壁により壁を築造し、表面を遮水シートで覆います。

イ 遮水設備・・・二重遮水シート（埋め立て地を覆うもの）により、漏水検知システム設置及び自己修復材を使用します。



砂+遮水シート

散水設備

集水管

遮水シート

搬入スロープ

【イメージ写真2 エコ小野上処分場埋め立て施設内観】

(3) 浸出水処理施設

- ア 構造規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て
イ 延べ面積 1,000㎡
ウ 主要室 管理室、研修室、浸出水処理プラント
エ 処理水 循環再利用（埋立地の散水利用）して河川に放流を行わない「無放流式」
オ 処理能力 20㎡/日（想定）
カ 設備 カルシウム除去設備→生物処理設備→凝集膜ろ過設備→活性炭吸着設備（想定）
水の循環利用に伴い、浸出水中の塩分を除去する必要があるため、脱塩処理設備を付加した処理施設となります。



【イメージ図 浸出水処理施設外観】

3 その他

(1) 地元対策について

地元対策については、地元協議の中で決定していきますが、建設時及び現在行われている他事例での対策は下記のとおりです。

- ア 清掃センター・・・補助金（地元協議会へ）
イ 環境クリーンセンター・・・施設整備（プール、運動場、テニスコート整備など）
ウ 旧小野上処分場・・・補助金（地元組合→小野上村→渋川市へ）
エ エコ小野上処分場・・・補助金（渋川市へ）

(2) 跡地利用について

運用終了後の跡地については、吉岡町及び地元と協議の上決定する予定です。

〈参考例〉

ア 建物を残す場合・・・屋内運動場（テニス、ゲートボール他）、農業用施設、避難場所、集会所など

イ 建物を残さない場合・・・運動場、公園、キャンプ場、太陽光発電など

(3) 他自治体参考例



貯留施設内観



外観

【大分県臼杵市一般廃棄物最終処分場】



貯留施設内観

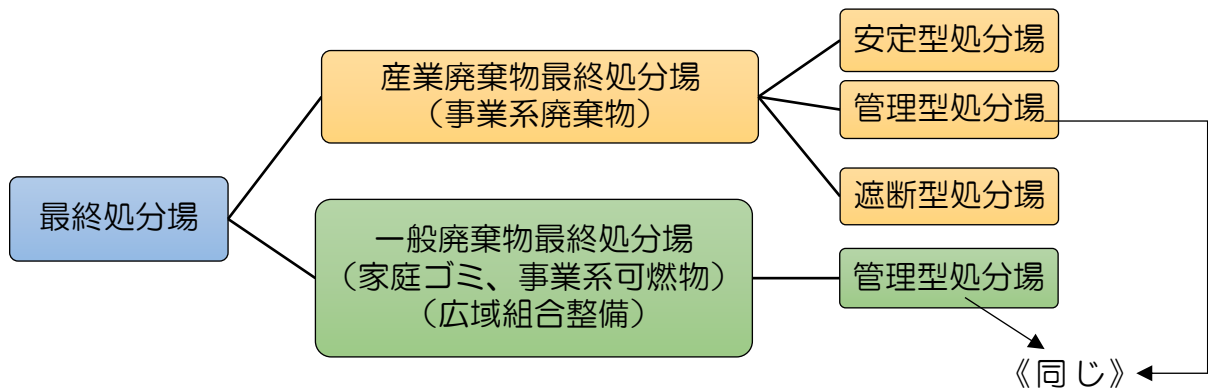


外観

【吾妻東部衛生施設組合】

4 参考

(1) 最終処分場の分類



(2) ゴミの分類

ア 産業廃棄物

事業者の産業活動などによって排出されるゴミ
(がれき、廃プラスチック、金属くず、廃油、ばいじんなど)

イ 一般廃棄物

家庭から出るゴミ及び事業者が排出する可燃ゴミなど

(3) 最終処分場の方式

